

先³

先生による
先生のための
先回り研修会



身体をつかって、思考のタガを「壊す」体験会

2025年12月20日(土)14:00~16:40

登壇者



金城満

元琉球大学大学院教授／美術家

沖縄県那覇市出身。美術教師として中学校10年、高校25年勤務、2020年琉球大学着任。2025年沖縄県立図書館「戦後80年平和を考える」講師。2018年第55回沖縄タイムス教育賞。2014年光州ビエンナーレ招待出品作家。2013年辰野千壽教育賞優秀賞。2003年松下視聴覚教育研究財団第15回理事長賞（共同研究）。2001年松下視聴覚教育研究財団第27回実践研究助成（共同研究）。1999年記録映像「石の声」下中教育映像助成。1995年沖縄県女性総合センター綴帳原画作成。1986年より差別、暴力、教育等をテーマに個展20回。



舘林恵

アクティブラーニングこんなのどうだろう研究所所長／（株）電通 コピーライター

沖縄県那覇市出身。大学時代に『ピタゴラスイッチ』の企画制作に参加。電通の社会貢献活動「広告小学校」教材開発担当。コピーライター・CMプランナーとして広告を作りながら、研究所では発想に関する授業を開発＆実施している。最近の仕事に、漫画『ONE PIECE』25周年企画『MEET THE "ONE PIECE" 47』特別授業開発など。

緩利誠

昭和女子大学現代教育研究所所長／アカデミックプラクティショナー

LESSON

レッスン情報

	1 限 目	2 限 目	3 限 目	4 限 目	5 限 目	6 限 目
時 間 割	夢	予	秘	副	壊	先

今年も先3のテーマは、守破離の「破」！

社会の変化や兆しをいち早くキャッチして、教育で先手を打つために。先回りして考える&体験する先生研修「先3」（さきさん）。今年もこの季節がやってきました。やっぱり先3の使命は「守破離」の「破」にある！ということで、日本の教育をとりまく「こうあるべき」といった縛りをさらに、ゆるめて壊していきます。今回も世界初の時間割をご用意！その中には、昨年の参加者が発案したアイデアも。自分たちに必要な学びを自分たちでつくっていく。つながっていく。先3が先回り先生の秘密基地となるように。一緒に、ゆるーく。先回りの一步を、はみ出ませんか？

LESSON

レッスン情報

	1 限 目	2 限 目	3 限 目	4 限 目	5 限 目	6 限 目
時 間 割	夢	予	秘	副	壊	先

今年も先3のテーマは、守破離の「破」！

社会の変化や兆しをいち早くキャッチして、教育で先手を打つために。先回りして考える&体験する先生研修「先3」（さきさん）。今年もこの季節がやってきました。やっぱり先3の使命は「守破離」の「破」にある！ということで、日本の教育をとりまく「こうあるべき」といった縛りをさらに、ゆるめて壊していきます。今回も世界初の時間割をご用意！その中には、昨年の参加者が発案したアイデアも。自分たちに必要な学びを自分たちでつくっていく。つながっていく。先3が先回り先生の秘密基地となるように。一緒に、ゆるーく。先回りの一步を、はみ出しませんか？

先回りに必要な4つのチカラ

1. 対話

もっと教育界以外の
異業種の人たち
とも「対話」をする

2. 批判

今の社会や時代を
「批判」的に吟味
し、その変化の兆
しをいち早くキャ
ッチする

3. 論理

想像をめぐらせ、
いまだここにはな
いものを生み出すた
めの「論理」を探
る

4. 創造

対話、批判、論理
を踏まえて、新た
に「創造」する

先回りに必要な4つのチカラ

4. 創造

対話、批判、論理
を踏まえて、新た
に「創造」する

4. 創造

対話、批判、論理
を踏まえて、新た
に「創造」する

ご参加のみなさまへ

プレゼン途中でも疑問質問等は
ご遠慮なく出してくださいをね

本日の流れ

14:00-14:15 オープニング ⇒ 発案者の川本さんから一言(15分)

14:15-14:30 私と金城満先生 by 舘林さん(15分)

14:30-15:00 ワークショップ by 金城(30分) 「自画像とは、闇を光で消すことである。」

ココ

15:00-15:30 実例①中学校での取り組み・「家族の肖像」...映像あり(30分)

-----休憩(10分) -----

15:40-16:20 実例②高校での取り組み・「石の声」...映像あり(40分)

16:20-16:30 リフレクション ⇒ Slido(10分)

16:30-16:40 クロージング(10分)

※ 最後にこのプレゼン資料 (pdf) のリンクをお知らせします

自画像ワークショップ (30分)

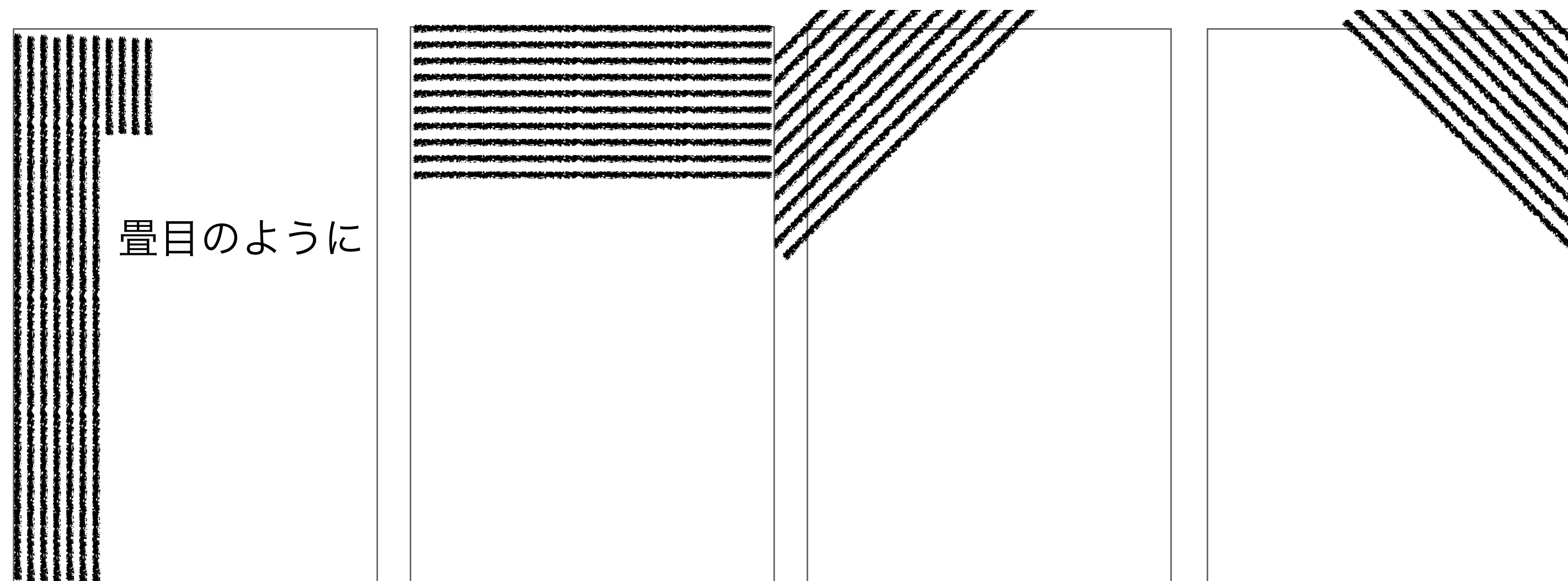
必要なもの

1. 名刺大の紙（厚手がよい）
2. 4B鉛筆（無ければHB程度でもよい）
3. 練り消し（パチンコ玉程度でよい、消しゴムでも可）
4. スマホでの自撮写真（当日会場で撮る）
5. 下敷きにする紙（A4程度、鉛筆で机を汚さないため）

白画像ワークショップ (30分)

手順

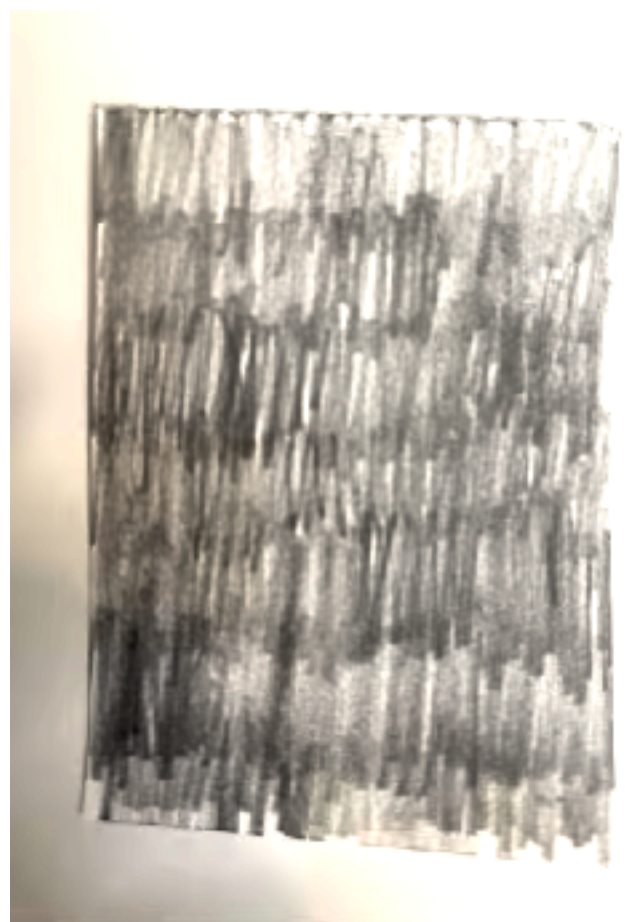
1. 名刺大の紙を4B鉛筆で全面黒く塗りつぶす
2. スマホで光を意識し自撮りする
3. 練り消しで光を消し陰影をつくっていく
4. 鉛筆で描き足す 3. 4. をくり返す



白画像ワークショップ (30分)

手順

1. 名刺大の紙を4B鉛筆で全面黒く塗りつぶす
2. スマホで光を意識し自撮りする
3. 練り消しで光を消し陰影をつくっていく
4. 鉛筆で描き足す 3. 4. をくり返す



光で闇を消すことで現れる自画像

光を
闇を
輪郭を



本日の流れ

14:00-14:15 オープニング ⇒ 発案者の川本さんから一言(15分)

14:15-14:30 私と金城満先生 by 舘林さん(15分)

14:30-15:00 ワークショップ by 金城(30分) 「自画像とは、闇を光で消すことである。」

15:00-15:30 実例①中学校での取り組み・「家族の肖像」...映像あり(30分)

ココ

-----休憩(10分) -----

15:40-16:20 実例②高校での取り組み・「石の声」...映像あり(40分)

16:20-16:30 リフレクション ⇒ Slido(10分)

16:30-16:40 クロージング(10分)

実例① 中学校での取り組み

1. 中学校3年美術の教材開発
2. 絵画制作と作文を組み合わせた実践
3. 家族写真をもとにテンペラで制作
4. 最終的には、その絵の背景である記憶や想い等を作文にする課題



背景

1. 美術という**教科の役割**は何なのかを
生徒とともに教師の視点でも問い詰
めた
2. **思春期の揺れ動く時期の作品**として
家へ持ち帰らせて大切に残させたい
3. 家族写真を学校に持ってくることへ
の**違和感**や、**抵抗感**こそテーマ



目的

1. 学習指導要領改訂の動きの中で**授業時数の削減**
2. 授業の効率化だけでは試行錯誤から生まれる**創造性**を奪ってしまう危険
3. 生徒が**自分と向き合い**制作出来る時間の確保と**教材開発**の必要性
4. 業者の説明書通りに作るだけの**画一的**なセットものの教材ではテーマや物とのかかわりによる**思考や工夫**は育ち難い



技法

1. 技法は中学校では見慣れない**卵テンペラ**を用いた
2. 授業開始時に**卵と酢でメディウム**（接着媒体）を作り
顔料と練って絵の具を作る
3. ハッチングという**繰り返し線を重ね**
ていく描法で制作
4. 顔料の発色の美しさ、卵と水の性質等、
制作過程での発見が**思考を刺激様々な**
工夫が生徒たちから生まれた
5. この技法は、耐久性もあり、作品の
長期保存が可能



振り返り

1. 完成した作品の裏へ、絵のテーマになった**家族の作文**
「絵の背後にあるもの」を貼る
2. タイプ別から選抜した作文は、その年の「家族の肖像」という**文集**にして**配布**
3. **プライバシー**を重視、実名、匿名で作文掲載の承諾協力は不可欠
4. 私自身、実際生徒たちがどのように「家族の肖像」を感じ、考えて、**内面**
で何が起きているのかを知るため





内面で何が起きているのか

思春期のマーブル状態の彼らを
軟化させ整理・濃縮を試み
内面で何が起こっているのかを
確認するため9ページの
「よみもの」テスト問題によって
「絵の背後にあるもの」を書かせた

3年・二学期期末テスト（美術） 1993・12・7W 3歳

期末テストもいよいよこの時間で終わり、も～頭も疲れはてているでしょうか？

そこで一句、「クタクタと 脳味噌にえたか まだ煮えない」

さて、テストに入る前にこのテストの説明をします。構成は、オムニバス形式(ムニバスでいい)の読み物風になっています。簡単に言うと、第1部から第4部まで読んでいくことでみなさんの心にいる「ヘンナー」を溶かし、「なんで、いいさ～」の素直な気持ちで第4部にのぞんで欲しいと考えたからです。それと、今回やっているデバ殖「家族の肖像」は、ボク自身手探りで6年前に始め、みなさんは逆に沢山の事を、毎年残してくれて様々な角度を示してくれています。(これは、ビデオでも紹介は割)このテストもそんな内容を含んでいるつもりです。

第1部:「1993年12月7日」

「先生、テスト範囲どこねー」

「フーン なんで」

「何、勉強していいかわかんから」

「じゃーテスト範囲がなかったらどーするの」

「勉強しない」

「・・・」 先生 みなさんの言い方を借りれば「イミヨ～」^{ぐいしょ}と言いたい



ではボクはなぜテスト範囲がなかったら・・・と言ったのでしょうか、次の4つから選びなさい。

- ①範囲を決めてもどうせ違う問題になるから
- ②プリントなどから出題しても「点取り虫」がいい点を取るだけだから
- ③美術は暗記よりも感性を大切にしたいから
- ④ペーパーテストよりも口頭の課題を重視しているから

期

末テストもいよいよこの時間で終わり、も～頭も疲れはてているでしょうか？

そこで一句、「クタクタと 脳味噌にえたか まだ煮えない」

さて、テストに入る前にこのテストの説明をします。構成は、オムニバス形式(ムニバスでいい)の読み物風になっています。簡単に言うと、第1部から第4部まで読んでいくことでみなさんの心にいる「ヘンナー」を溶かし、「なんで、いいさ～」の素直な気持ちで第4部にのぞんで欲しいと考えたからです。それと、今回やっているデバ殖「家族の肖像」は、ボク自身手探りで6年前に始め、みなさんは逆に沢山の事を、毎年残してくれて様々な角度を示してくれています。(これは、ビデオでも紹介は割)このテストもそんな内容を含んでいるつもりです。

④について⇒やはりなんと言っても日ごろの課題を重視して評価していきたいから。

では、なぜ「1993年12月7日まで生きた時間とその内容」という範囲なのでしょう。

美術はまず「君たちこれ、知ってるっ」と知識を問うよりも「みなさんが今何を感じ、何を考えているのか」が重要だと思うからです。そんなふうにより「生もの」に近いし新鮮なものなのです。これが、美術という教科の特色だと思うし、勉強するところではないでしょうか。だからこのテ・ス・トの後何かを感じて、それを残せばいいと思うのです。 第4部ではその残すということをやります。

なかめました。

いま考えてみると、すごくあたりまえのことかも知れませんが、ボクの彼女に対する偏見だったのかと反省させられます(汗!). また、もう一つは「家族を描く」ことは、「家族を考える」ことだとも言えるでしょう。様々なことを考える機会を、作品を創ることでもち、彼女の中で何かがうごきはじめて、表面にでてきた、そう考えることもできるでしょう。



様な気になって・・・その瞬間、ボクの背中があたたかい屋根瓦から離れるような、上へ上へとひっぱられる様な、宇宙の黒へと落ちていく様な、そんな言葉を越えた恐怖感に似た気持ちにおそわれたのです。おもわずボクの小さい手は、グッと屋根瓦をにぎりしめていたのです。

1993年12月、ボクは宇宙を感じる
ことが少なくなっている自分を
あまり好きではありません。なにか
忘れ物をしてきた様な気分なんです。



ーをそそぎ、9割りの生徒は9割りの迷惑をこうむり、1割りの生徒は1割りの反省さえも無い」これが、叫ばずにいられますか！ エラソーナ事を言うようだが今後も叫んでやるー！！！！！！　しかし、お願いだからその種の臨時集会を無くしていきませんか。

先日の学年朝会での叫び歌は、そんな気持ちを伝えたかったのです。

－ 4 －

ハ時の神だのみー
当に神がいるのならー
尊厳みたいなクラーをー
ますぐ工芸室つけなさい

さらにも一つ言うならば
オレがこうして叫んでもー
なんにも変わらぬことならばー
それも一つの人生かー　ア～ア～

－ 5 －

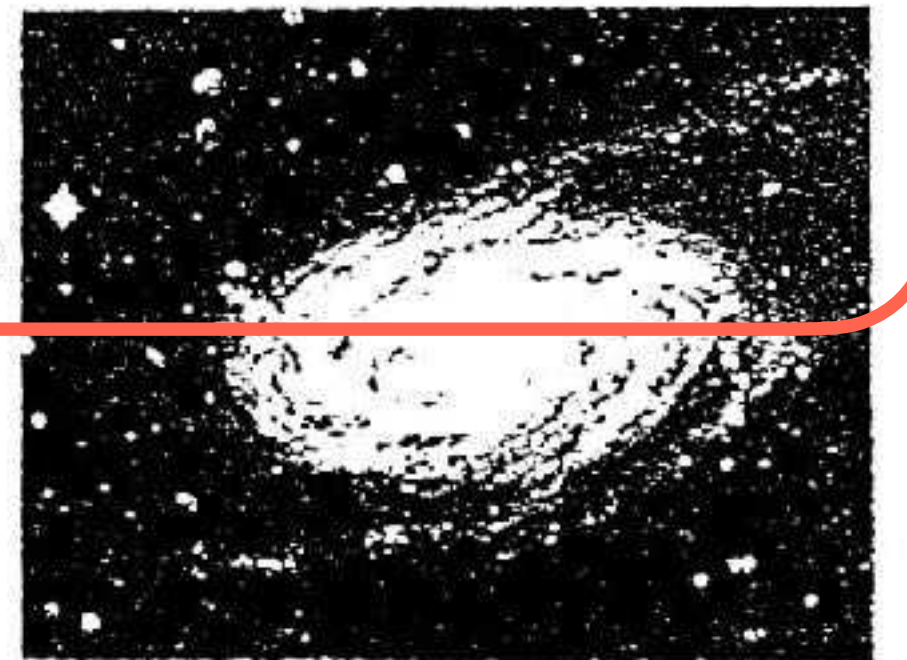
パート3 「宇宙と夢中」

ボクにはこんな体験があります。小さい頃、屋根にあがり星を見るのが好きでした。仰向けになり星を見ていると、屋根瓦は昼間の熱を吸収していて、背中にあたたかいものを感じました。

星というのは不思議なもので、小さい星は見ようとすればするほど見えなくなり、その隣を見ると見えるのです。そんなことを繰り返しているとだんだん、天の川やその他の沢山の星が空にあふれて、自分がそこにいる気分になってきて、向うからこっちを見ている

様な気になって・・・その瞬間、ボクの背中があたたかい屋根瓦から離れるような、上へ上へとひっぱられる様な、宇宙の黒へと落ちていく様な、そんな言葉を越えた恐怖感に似た気持ちにおそわれたのです。おもわずボクの小さい手は、グッと屋根瓦をにぎりしめていたのです。

1993年12月、ボクは宇宙を感じる
ことが少なくなっている自分を
あまり好きではありません。なにか
忘れ物をしてきた様な気分なんです。



いつのまにか屋根にもあがらなく
り、星も見なくなり、少しずつクー
ルになっている気がするのです。

「You may say I'm a dreamer」

(訳：君は 空想家 だとおかしはい)

これは、ジョン・レノンの

イマジンの一節です。dreamerがいたから宇宙へ行けたのです。dreamerがいたから芸術が生まれたのです。dreamerがいたからごはんが食べれるのです。

だから、みなさんもボクも一生、dreamerであり続けたいと思うのです。

－ 6 －

パート4 「美音術室」

「先生、今日は何をならすのー」

「フーン なんで」

「コレ かけてー」

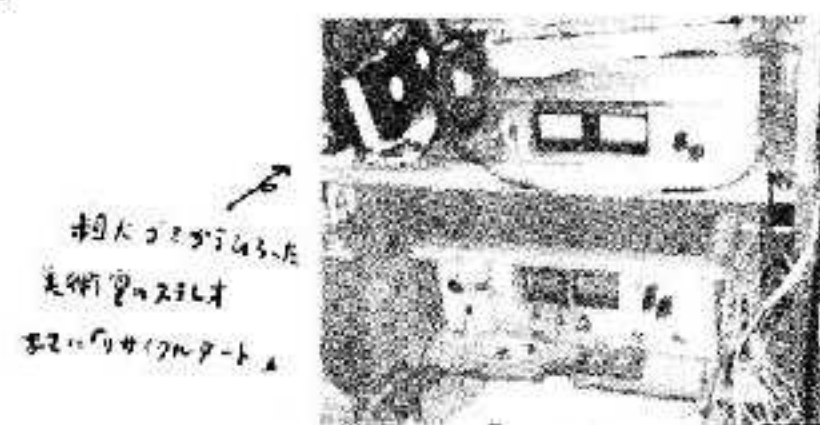
「ウン おもしろくなかったら取り上げっ」

「ゲーエー」

那覇中にきて紛らわしいなー と、思ったのが美術室の名称でした。工芸室、第一美術第二美術室、半年ぐらいいはハッキリしませんでした。まっ、とにかく呼び方はともかく、美術室には、音楽があります。授業参観のときは音楽室とまちがわれます。

根性だとか、努力だとか言って気張るのじゃなく、いい雰囲気の中であくさんのことをやれば、だんだんやっていることが、おもしろくなるわけだし工夫もしてくるし、気が付いたら美術が好きになっていた、そんな状態がボクの目指す授業なのです。美術室をいい雰囲気にしていく、音楽はそのための一つの工夫です。ただならしているわけではないのです。 ヒキヒキ音

いい雰囲気を後4ヵ月で、もっともつつくっていきましょう。もしかしたらみなさんの半数が、いわゆる「教科としての美術」は最後なのだから。だから、いい作品を残しましょう。そして、10年、20年後に中学生の時自分が描いた「家族の肖像」が、もう一つの家族の中にある事を、想像してみてください。
ドキドキしませんか？ 必ず出来ます。



第3部：「家族の肖像」

2 学期に入り、テンペラという初めての技法で「家族の肖像」をやっているわけですがもうすぐ完成へと大詰を向かえ、この段階でもう一度、家族について考えてみましょう。今はおそらく絵をどのように仕上げようか、色はどうしようか、などなど画面のほうへ目がいきやすいと思います。

第4部：さていよいよ問題ですよ

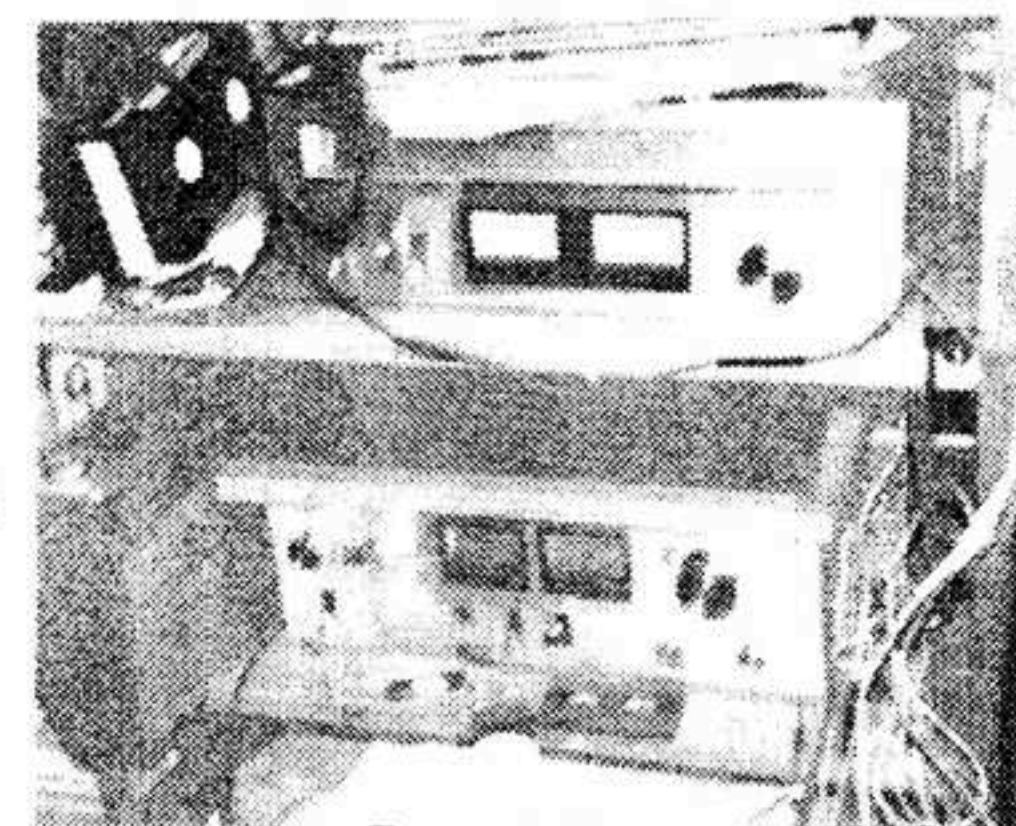
た いへんながらくお待たせしました。いよいよ問題です。



問題

いい雰囲気を後4ヵ月で、もっともつつくっていきましょう。もしかしたらみなさんの半数が、いわゆる「教科としての美術」は最後なのだから。だから、いい作品を残しましょう。そして、10年、20年後に中学生の時自分が描いた「家族の肖像」が、もう一つの家族の中にある事を、想像してみてください。
ドキドキしませんか？ 必ず出来ます。

相大コミカスした美術室のスタジオ
また「リサイクルポート」



「先生、今日は何をならすのー」

「フーン なんで」

「コレ かけてー」

「ウン おもしろくなかったら取り上げっ」

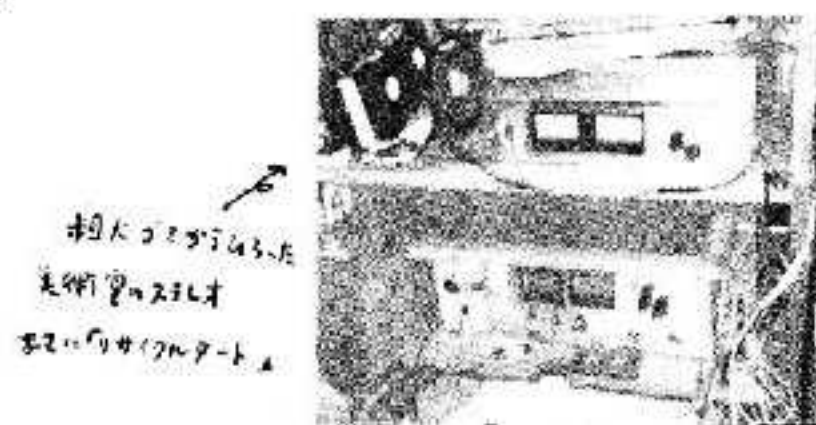
「ゲーエー」

那覇中にて紛らわしいなー と、思ったのが美術室の名称でした。工芸室、第一美術第二美術室、半年ぐらいはハッキリしませんでした。まっ、とにかく呼び方はともかく、美術室には、音楽があります。授業参観のときは音楽室とまちがわれます。

根性だとか、努力だとか言って気張るのじゃなく、いい雰囲気なかでたくさんのごことをやれば、だんだんやっていることが、おもしろくなるわけだし工夫もしてくるし、気が付いたら美術が好きになっていた、そんな状態がボクの目指す授業なのです。美術室をいい雰囲気にしていく、音楽はそのための一つの工夫です。ただならしているわけではないのです。 ときどきある

いい雰囲気を後4ヵ月で、もっともつつくっていきましょう。もしかしたらみなさんの半数が、いわゆる「教科としての美術」は最後なのだから。だから、いい作品を残しましょう。そして、10年、20年後に中学生の時自分が描いた「家族の肖像」が、もう一つの家族の中にある事を、想像してみてください。

ドキドキしませんか？ 必ず出来ます。



第3部：「家族の肖像」

2 学期に入り、テンペラという初めての技法で「家族の肖像」をやっているわけですがもうすぐ完成へと大詰を向かえ、この段階でもう一度、家族について考えてみましょう。今はおそらく絵をどのように仕上げようか、色はどうしようか、などなど画面のほうへ気持がいつていると思います。

そういったテクニックはとても大切だし、絵づくりには不可欠です。それにもう一つ加えて欲しいのが「絵の背後にあるもの」です。簡単に言うと、絵を描きながらこの時の家族はどんな家族だったのかなー、この頃の自分はどんな感じだったのかなー、一枚の写真をもとにして描いた絵にはさまざまなものが入っているはず。それを表現しなければ、炭酸の抜けたコーラです。

一つの例として右下の写真を見てください。これは昭和6年に撮られた写真でボクの母方の家族です。真ん中に立っている女の子が、ボクの母で、りょうわきがオジー、オバーです。撮影はオジーのカメラでセルフで撮ったものです。この時代にそういうことが出来たのはお金持ちだったからだと思うかも知れませんね。しかし、そうではなくオバーの話によると明日食べる物がなくてもオジーはおかまいなくお金を写真に注込んでいたようです。だからオバーの苦労は大変なものだったようです。その苦労のおかげで母親の小さい頃からの写真を見ることが出来き胸が熱くなるのです。あの時代においてこれだけ写真があるのは希なことです。しかし、戦争が始まったところから写真が撮られなくなるのです。

そのオジーは7年前に亡くなり、オバーは昨日で90歳、母はもうすぐ68歳です。



第4部：さていよいよ問題ですよ

たいへんながらくお待たせしました。いよいよ問題です。



問題

右の原稿用紙に第3部で言った「絵の背後にあるもの」を自分の制作している「家族の肖像」を思い浮かべながら書きなさい。用紙は、絵がタテの人はタテ、ヨコの人はヨコで字は横書きで書いてください。最後に今日の日付も入れましょう。

☞ 尚、この原稿用紙は切り離して提出してください。最終的には、絵の後に貼る予定です。

15)

タテ

ヨコ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

日付をここに書く

第3部：「家族の肖像」

2 学期に入り、テンペラという初めての技法で「家族の肖像」をやっているわけですがもうすぐ完成へと大詰を向かえ、この段階でもう一度、家族について考えてみましょう。

今はおそらく絵をどのように仕上げようか、色はどうしようか、などなど画面のほうへ気持がいつていると思います。

そういったテクニックはとても大切だし、
絵づくりには不可欠です。それにもう一つ加
えて欲しいのが「絵の背後にあるもの」です。
簡単に言うと、絵を描きながらこの時の家族
はどんな家族だったのかなー、この頃の自分
はどんな感じだったのかなー、一枚の写真を
もとにして描いた絵にはさまざまなものが入
っているはずです。それを表現しなければ、
炭酸の抜けたコーラです。

一つの例として右下の写真を見てください。



この棒と椅、た
Aのイイウ等は
たふてしやう



っているはずです。それを表現しなければ、
炭酸の抜けたコーラです。

一つの例として右下の写真を見てください。
これは昭和6年に撮られた写真でボクの母方
の家族です。真ん中に立っている女の子が、
ボクの母で、りょうわきがオジー、オバーで
す。撮影はオジーのカメラでセルフで撮った
ものです。この時代にそういうことが出来た
のはお金持ちだったからだと思うかも知れま
せんね。しかし、そうではなくオバーの話に
よると明日食べる物がなくてもオジーはおかまいなくお金を写真に注込んでいたようです
だからオバーの苦労は大変なものだったようです。その苦労のおかげで母親の小さい頃か
らの写真を見ることが出来き胸が熱くなるのです。あの時代においてこれだけ写真がある
のは希なことです。しかし、戦争が始まったころから写真が撮られなくなるのです。

そのオジーは7年前に亡くなり、オバーは昨日で90歳、母はもうすぐ68歳です。



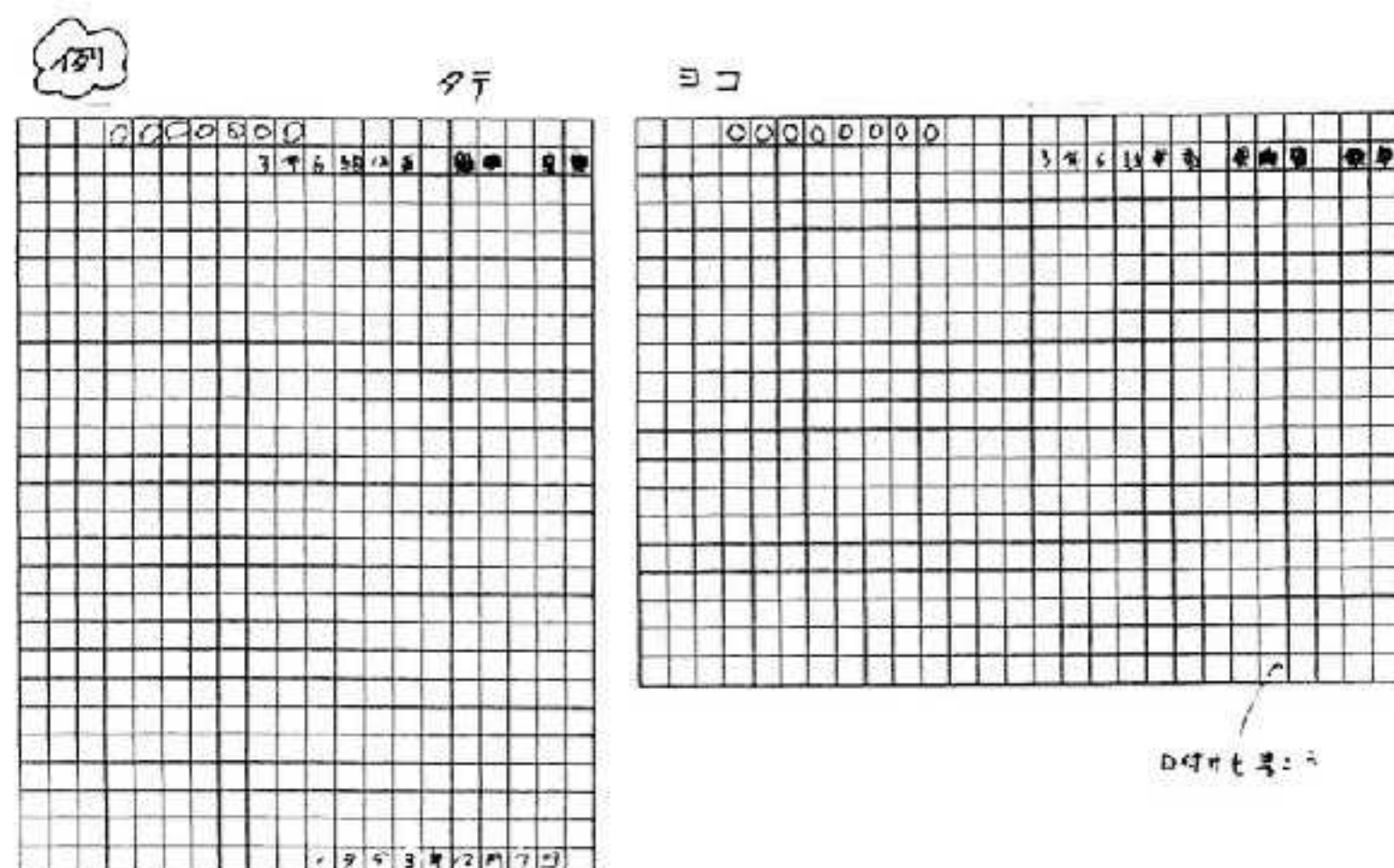
第4部：さていよいよ問題ですよ

たいへんながらくお待たせしました。いよいよ問題です。

問題

右の原稿用紙に第3部で言った「絵の背後にあるもの」を自分の制作している「家族の肖像」を思い浮かべながら書きなさい。用紙は、絵がタテの人はタテ、ヨコの人はヨコで字は横書きで書いてください。最後に今日の日付も入れましょう。

四 尚、この原稿用紙は切り離して提出してください。最終的には、
 絵の後に貼る予定です。



(必ず) 出す
 何度も折りまげて机のフチで引はる

第4部：さていよいよ問題ですよ

たいへんながらくお待たせしました。いよいよ問題です。



問題

右の原稿用紙に第3部で言った「絵の背後にあるもの」を自分の制作している「家族の肖像」を思い浮かべながら書きなさい。用紙は、絵がタテの人はタテ、ヨコの人はヨコで字は横書きで書いてください。最後に今日の日付も入れましょう。

④ 尚、この原稿用紙は切り離して提出してください。最終的には、絵の後に貼る予定です。

「**絵の背後にあるもの**」を自分の制作して、「**家族の肖像**」を思い浮かべながら書きなさい。

この原稿用紙は切り離して提出
最終的には、

絵の後ろに貼る予定

・
・
・

これが文集になる

④ 切り離して提出
何度も折りまげて机のフチで引はる

美術教育に作文を組み入れ内面に向き合わせる

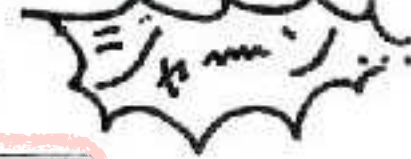
さらに振り返りとして、
編集した文集「家族の肖像」を
3学期に義務教育最後のテストと
して文集を読むかたちで出題
文集を読むことで
同じ学年の生徒がどう考え
何を感じているのか
文集との対話が目的



ここまで読んできて、「何も感じない」人はおそらくいないでしょう。

もしいたら、その人は鈍感ではなく、鈍感のふりをやめられないだけか、感じるのが恐
いだけか、今それを感じてしまうと自分自身が不安になってしまう、などでしょう。

さて、そろそろこのテストも問題は何なんだろうと、不安になってるころでしょう。

それでは、大変長らくお待たせしました。問題です。

問題

みなさんは後二ヵ月ちょっとで卒業ですが、今回、義務教育最後の美術の課題でテ
ーマが、「家族」。この理由を、解答用紙へ10万字以内で述べよ。

〇〇〇 実は、解答用紙はありません。それどころか出題者のボク自身、白状してしま
うと解答をもっていません。この課題を手がけて、約6年になりますが今だに、なぜ最後
に「家族の肖像」を課すのかハッキリ答えられません。

しかし、感じていることは、美術は、単に「絵がウマク描ければいい・・・」とか、「
形がウマクとれればいい・・・」とか、ではないということです。確かにそういう一面も
ありますが、それは「象の爪」ぐらいのことです。美術の原点は、「感じる心」
ではないでしょうか。みなさんの中には、いわゆる教科としての「美術」は最後の人もい
ると思います。しかし、この「感じる心」は今後も自分自身で育てていかなければなりま
せん。原点にもどることは、何をやるにも大切です。大切なものは、不安がつきものです。

今は、この瞬間に今でなくなっていくます。「今」を感じない人は、「今後」も感じら
れないでしょう。

なんだか、とっても難しい話になってしまいましたが、あせらず自分自身の心のなかに
解答用紙をみつけていってください。そして・・・「アッ」と思ったときには、・・・
・・・誰かに伝えてください。それがきっと、あなた自身の原点です。

最後に、この曲を送りましょう。

みなさんにとって『すばらしい日々』はいつですか？

ここまで読んできて、「何も感じない」人はおそらくいないでしょう。

もしいたら、その人は鈍感ではなく、鈍感のふりをやめられないだけか、感じるのが恐いだけか、今それを感じてしまうと自分自身が不安になってしまう、などでしょう。

さて、そろそろこのテストも問題は何なんだろうと、不安になってるころでしょう。

それでは、大変長らくお待たせしました。問題です。

問題

みなさんは後二ヵ月ちょっとで卒業ですが、今回、義務教育最後の美術の課題でテーマが、「家族」。この理由を、**解答用紙へ10万字以内で述べよ。**

解答用紙へ10万字以内で述べよ。

解答用紙はありません。

〇〇〇 実は、**解答用紙はありません。**それどころか出題者のボク自身、白状してしまうと解答をもっていない。この課題を手がけて、約6年になりますが今だに、なぜ最後に「家族の肖像」を課すのかハッキリ答えられません。

しかし、感じていることは、美術は、単に「絵がウマク描ければいい・・・」とか、「形がウマクとれればいい・・・」とか、ではないということです。確かにそういう一面もありますが、それは「象の爪」ぐらいのことです。**美術の原点は、「感じる心」**

ではないでしょうか。みなさんの中には、いわゆる教科としての「美術」は最後の人もいます。しかし、**この「感じる心」は今後自分自身で育てていかなければなりません。**原点にもどることは、何をやるにも大切です。大切なものは、不安がつきものです。

今は、この瞬間に今でなくなっていく。 「今」を感じない人は、「今後」も感じられないでしょう。

なんだか、とっても難しい話になってしまいましたが、あせらず自分自身の心のなかに**解答用紙**をみつけていってください。そして・・・「**アッ**」と思ったときには、・・・誰かに伝えてください。それがきっと、あなた自身の原点です。

美術の原点は、「感じる心」

「感じる心」は今後も自分自身で育てていかなければなりません

なんだか、とっても難しい話になってしまいましたが、あせらず自分自身の心のなかに**解答用紙**をみつけていってください。そして・・・「**アッ**」と思ったときには、・・・誰かに伝えてください。それがきっと、あなた自身の原点です。

最後に、この曲を送りましょう。

みなさんにとって『すばらしい日々』はいつですか？

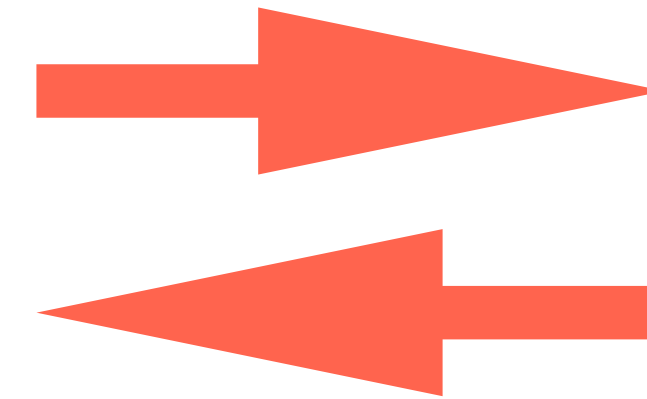
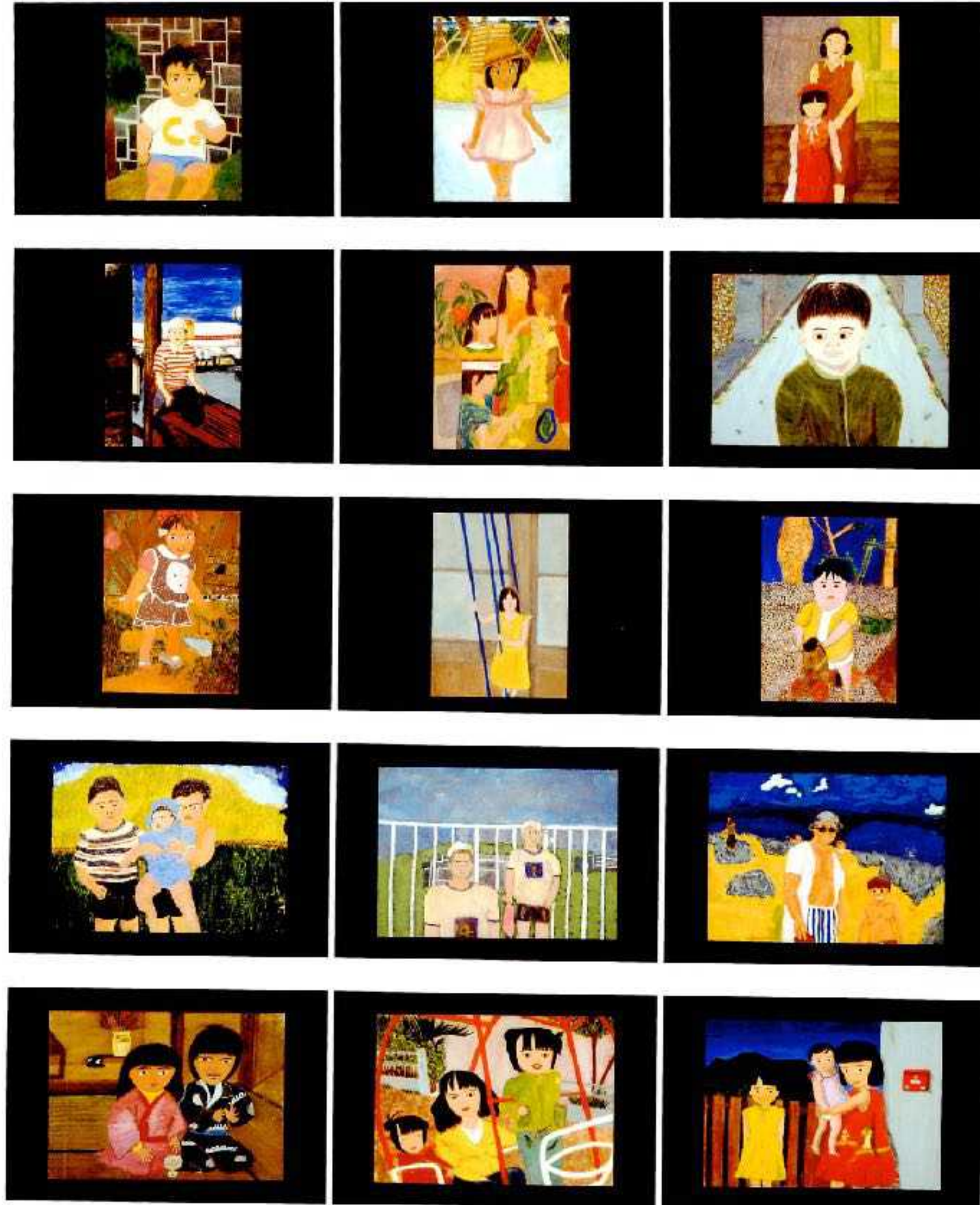
美術教育に作文を組み入れ内面に向き合わせる

この文集はテスト後
各家庭へ持ち帰り
家族で読んでの**反響**があった

(この実践の最後に時間があれば紹介します)



美術教育に作文を組み入れ内面に向き合わせる



絵と作文が
呼吸し始める



さらに映像での **振り返り**

1. 二部構成の映像制作・
「第一部テンペラの**テクニック編**」
「第二部**ハート編**」(8分15秒)

2. BGMと作文の朗読の映像教材
を加え、**感情に訴える**ことを
ねらいとした



193.10.6

アバ、父は、おれとい
大学
そうい
一人の
父バ
おれオ
おれア
アバ
学生で
(つり
つるリ
しにさう
あいて
大学
私バ
彼女
おも
くる。

昨日、清友が来り、戸唄を
私に才をばせたり。戸唄は
とのけは、もう、さへ家談り
肖像ばたし
涙を流した
私は、父親よりも母方より
私に、知つてゐる、健康で、
你、語つてゐたは、(自筆)の
「三才」三才、三才、三才
不問、さんざん、中、中、中
父は、さう、さう、英、英、英
父は、さう、さう、英、英、英
た、く、り、泣、き、起、こ、る、父、の
に、お、か、ら、な、近、町、の、娘、は、

[illegible]

193.10.6

「原国光」
う、みは、こ
家族の
が、ボロに
と考える社
健康ではな
自分というの
の、原国
中学校に
作られた
院まで、
は、耳、
と、父の
病院へ、

医者をたたくおとし、おてもうたことも
 あった。小学四年の時には、左腕を油
 で火傷をし、すぐに父がとんできて、水
 を流して、腕を冷やし、緊急病院へ
 と運ばれていった。
 そう、知ったのは、病院に通うことば
 かりだった。
 時は流れ、私の体は健康になっ
 った。

父にさういふことが一度だけあつた。大学浪人中に、私はとうとうも親元からばなれた。親バインだつたのか、何だにの、もう忘れたか、とにかく、親のち離れなかつた。私は親に内証で、本土の大学を受験した。そう、今終つて通知が届いた時に、はんねおつた。父は本土にくゝことをやるまじかつた。しかし、私はどうしてもつきたがひ。父の刑をほめて、家を流しながら、お願ひをした。ついまたいしと……

三月下旬、父と二人で、四日間、佐賀アパートを探して、愛知県に入らした。

電車の中で、何度か、「帰るかい」といふはら、ひやえせといふと言つていた。しかし、私には、はまゝつていた。

ア、バートンがめり、契約するときに、父は、最後に「いいかい、これ」と、念を
おして、い。

大学の入学式には、母が参加した。
そうして、私はほひのて、親元をはなれ
一人での生活がはじまるとした。

父は、大學をおとすために、平年より
 五、六月のところから、勉強しつゝに
 漸くアバートになつてゐた。
 アバートの住人は、金で、太宰の女子
 學生で、父は、私のアバートの住人
 (つまりは、友人にち)に

つるり子もよろしくしとあいまつを
したそうだが、このいとも、友びちから
うへて、とてもはがみつくにいて、
大学を卒業して、七年目にわた
私も、そろそろあいつにむかひな
私が嫁にくるとき、父は、
つ娘もよろしくしというくらいと
おもふと、涙バとまろむく流れて
くる。

つ娘をよろしくいというか、とおもうと、涙バとまろびく流れてくる。

[illegible]

意見交換

- ・ ここで、気軽に疑問や気づいた点など出し合い意見交換しましょう。

内容からの例：

- ・ 義務教育最後のテーマが家族
- ・ 絵画作品の「背景」にこだわり作文
- ・ どのように作文を書かせた
- ・ 美術室は美音術室
- ・ 自身の「家族の肖像」
- ・ 消えていく時間と繋がる時間
- ・ キーワード：解答用紙
- ・ 言葉と声、視覚と聴覚、そして五感
- ・ 編集方法と上映方法

「家族の肖像」

94那覇中版



1994年度 那覇中3年

【生徒】として効果があったと思われること

- 授業時間内での集中した作品制作できる生徒が増えた
- 展示を意識した制作ができた
- 授業に意欲的に取り組む生徒が増えた

【教員】として効果があったと思われること

- 校内、郊外を生かした幅広い教育活動を展開できた
- 家庭を取り込むことで授業の内容が充実した
- 教員の横の連携ができた

【学校全体】として効果があったと思われること

- 地域の住民や団体からの協力が得られやすくなった
- 学校から地域への情報発信がしやすくなった
- 学校行事への保護者の協力を呼びかけやすくなった

【地域社会】として効果があったと思われること

- 生徒や学校に対する理解が深まり、積極的に協力してくれた
- 生徒を地域全体で育てていこうとする意識が広がった
- 地域の眼差しが生徒へ安心感を与えた

思春期、柔らかく溶かしながら再構築

内から
外から
関係性を

壊す

-----休憩(10分)-----

本日の流れ

14:00-14:15 オープニング ⇒発案者の川本さんから一言(15分)

14:15-14:30 私と金城満先生 by 舘林さん(15分)

14:30-15:00 ワークショップ by 金城(30分) 「自画像とは、闇を光で消すことである。」

15:00-15:30 実例①中学校での取り組み・「家族の肖像」...映像あり(30分)

-----休憩(10分) -----

15:40-16:20 実例②高校での取り組み・「石の声」...映像あり(40分)

ココ

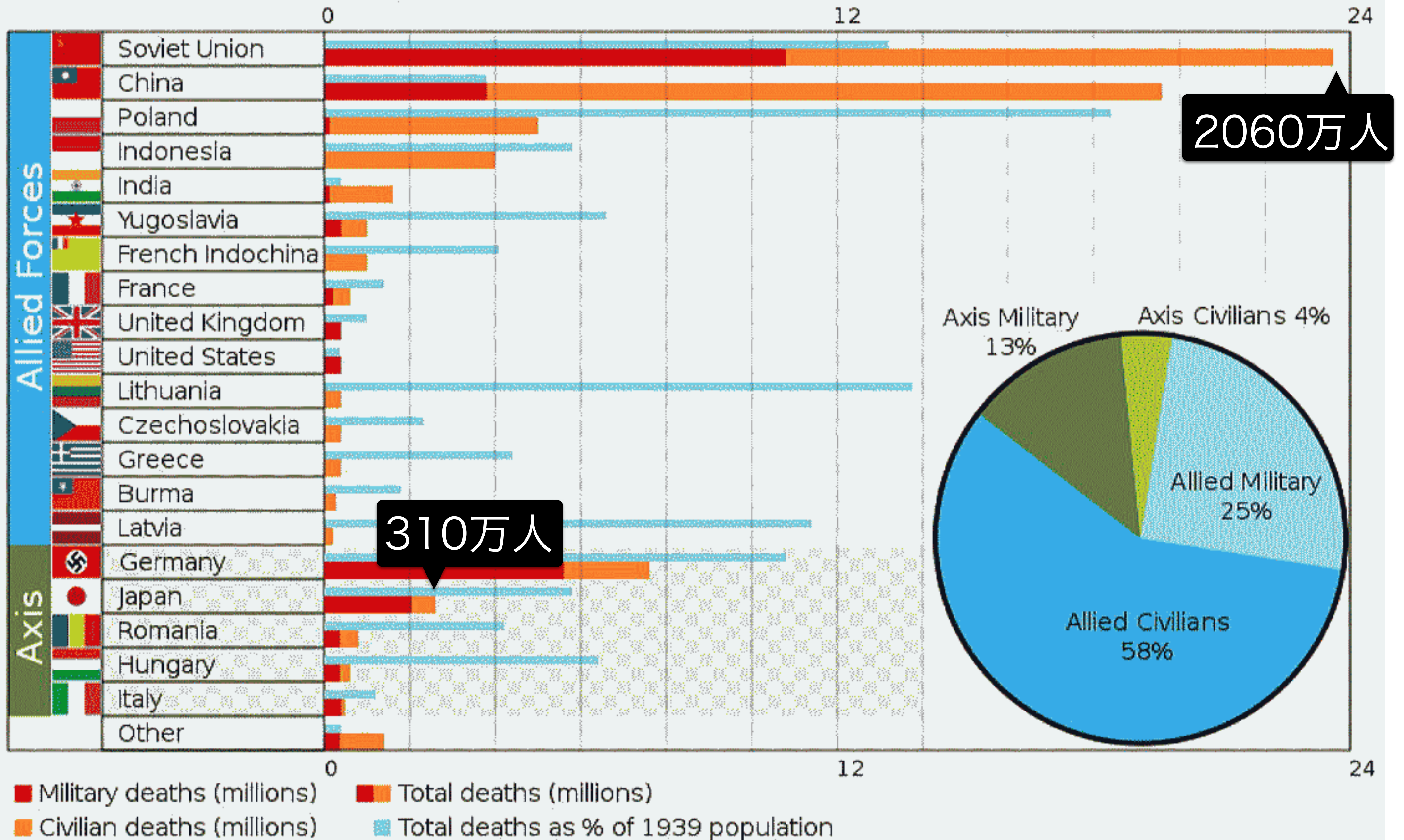
16:20-16:30 リフレクション ⇒ Slido(10分)

16:30-16:40 クロージング(10分)

実例② 高校での取り組み



World War II Deaths

<http://eritokyo.jp/independent/aoyama-col47898-5.htm>

質問です

沖縄戦の戦没者のなかで、犠牲者が一番多かったのはどの人たちですか。 (戦前の沖縄県の人口59万人)

(1)沖縄住民

(2)正規の日本兵

(3)米軍

(4)わからない

答え (諸説ある)

沖縄戦の戦没者のなかで、犠牲者が一番多かったのはどの人たちですか。 (戦前の沖縄県の人口59万人)

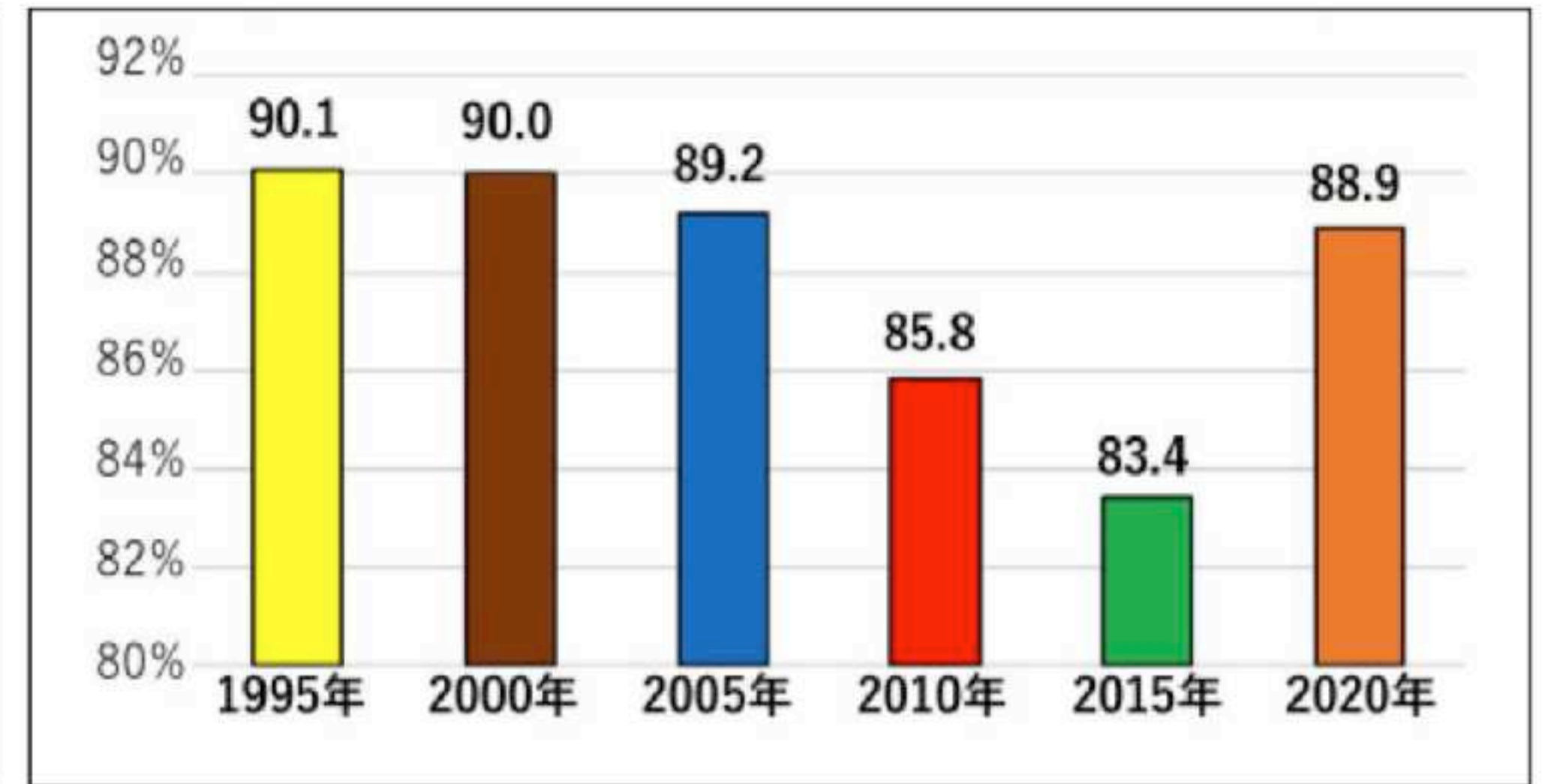
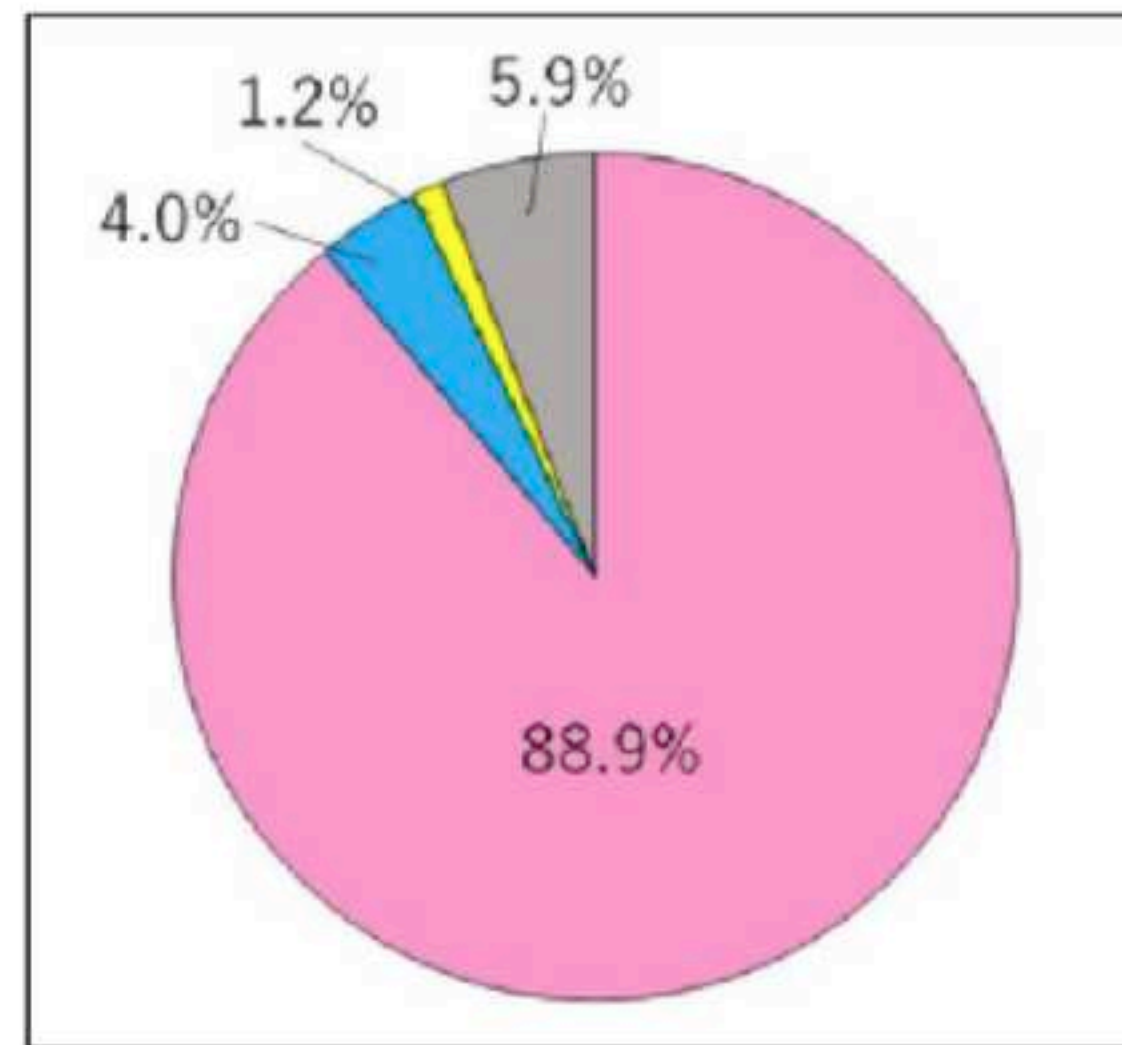
(1)沖縄住民 (88.9%)

(2)正規の日本兵 (4.0%)

(3)米軍 (1.2%)

(4)わからない (5.9%)

円グラフ：犠牲者の比率



棒グラフ比較（高校生）：1995年90.1% 2000年90% 2005年89.2% 2010年85.8% 2015年83.4%

沖縄歴史教育研究会「2020年平和教育に関するアンケートの分析」より

沖縄戦の特徴

①全島要塞化

- ・住民総動員—飛行場建設や陣地壕づくり
- ・「一木一草といえどもこれを戦力化すべし」

②戦略持久作戦

- ・本土上陸を遅らせる時間稼ぎの作戦、「捨て石」

③軍民混在の戦場

- ・日本兵による壕追い出し、食糧強奪
- ・砲弾は軍人と住民を区別しない。

④住民虐殺

- ・「軍人軍属を問わず標準語以外の使用を禁ず。沖縄語を以て談話しある者は間諜とみなし処分す」
- ・スパイ嫌疑により虐殺（赤松事件、今帰仁事件、本部校長事件など）

⑤集団自決

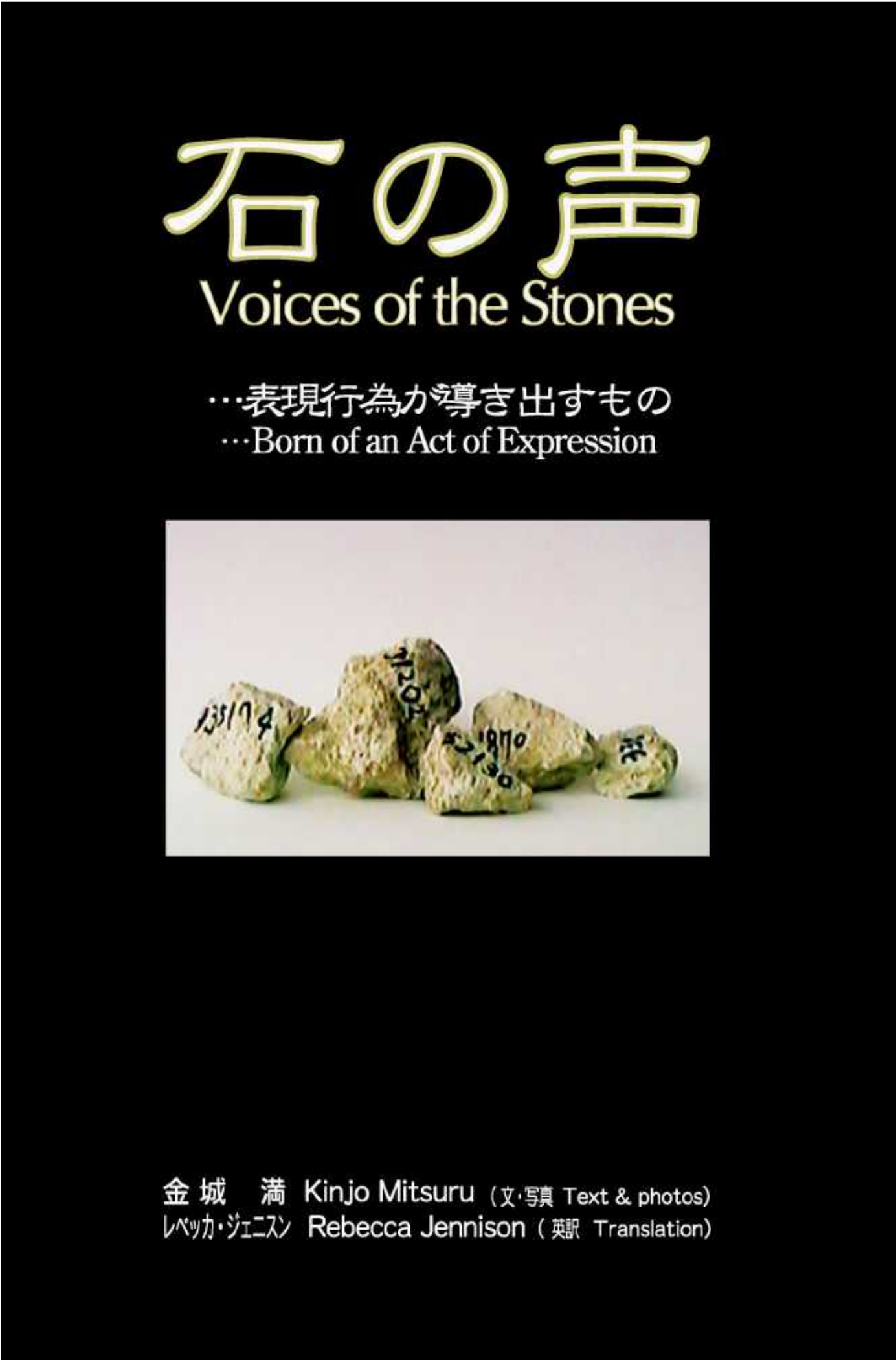
- ・壕追い出しと避難拒否、投降阻止
- ・日本軍の駐屯-座間味、慶良間、読谷、沖縄市、南部など

⑥米軍支配の長期化

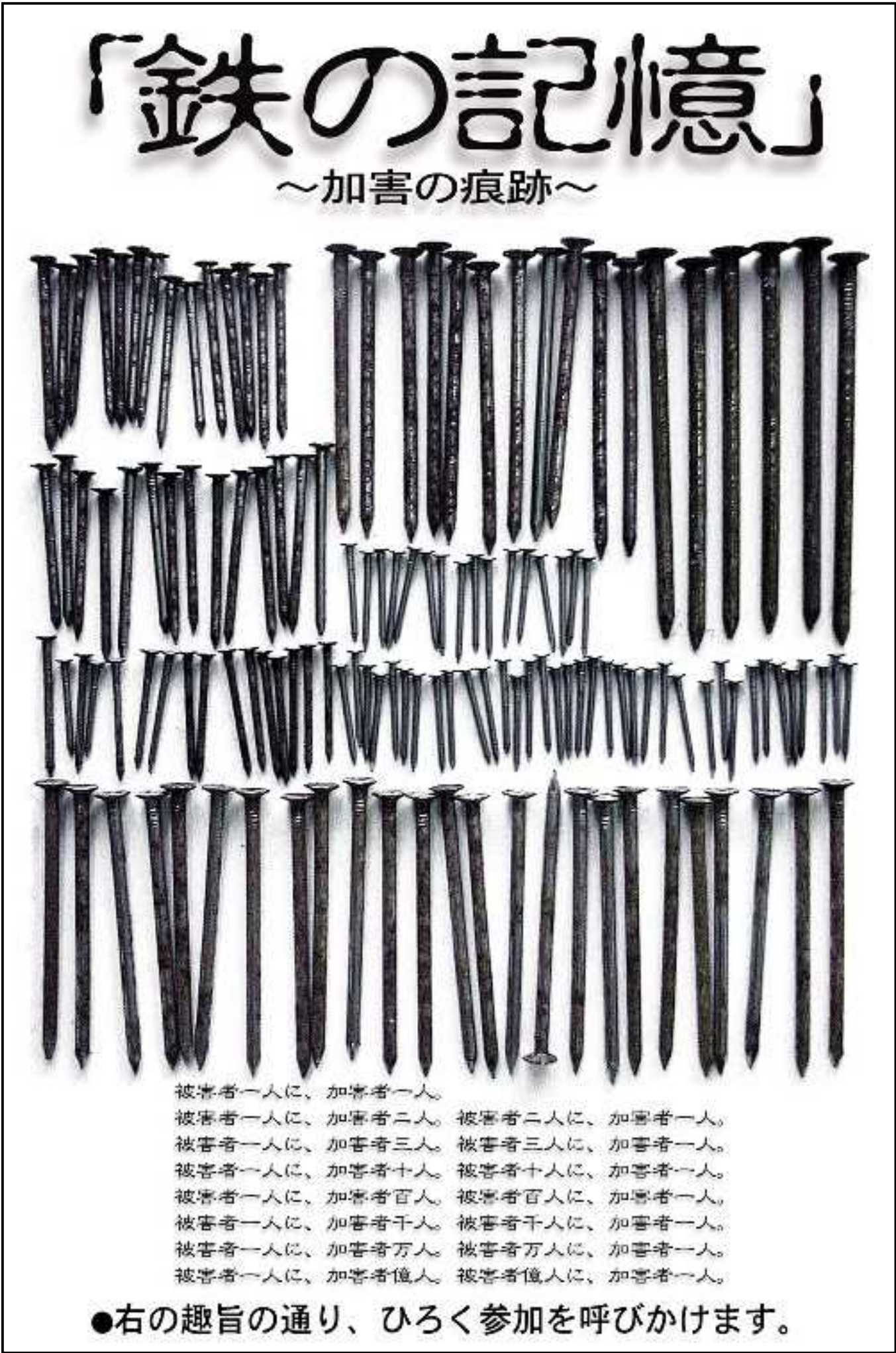
2つのアートプロジェクト ※による平和教育

- ※ 作品そのものより**制作のプロセスを重視**したり、美術館やギャラリーから外に出て**社会的な文脈**でアートを捉えたり、**アートを媒介に地域を活性化**させようとする取り組みなどを指す。

2つの取組みのアートプロジェクトによる平和教育



(1996年)



(1999~2000年)

キーワード
石と鉄

「石の声」・・・表現行為が導くもの (1996)

黙々と、ただ石に番号をうつ
その行為の数、20余万
祈りにも似た表現行為。

これが、「石の声」の呼びかけ文である。

1996年6月15、16日、普天間基地に隣接した
佐喜真美術館前広場に於て**236.095個の石に連番**
を書き入れ、積み上げていくという行為
この数字は、96年時点で把握されていた
沖縄戦戦没者数である

石の声 Voices of the Stones

・・・表現行為が導き出すもの
...Born of an Act of Expression



金城 満 Kinjo Mitsuru (文・写真 Text & photos)
レベッカ・ジェニソン Rebecca Jennison (英訳 Translation)

復帰前・後の主な事件事故 (1959年～2016年にかけての沖縄)

沖縄県では、米軍基地に起因する事件・事故が繰り返される。
航空機関連の事故は、本土復帰1972年～2016年末までに709件発生。

- 1959年、現うるま市にある宮森小学校に 米軍戦闘機が墜落し、11人の児童を含む17人が死亡、210人の重軽傷者を出した。
- 1995年、小学生の少女が米兵3人に暴行される事件が発生し、敗戦から半世紀、基地被害と米兵の犯罪に苦しんできた沖縄県民の怒りが爆発した。
- 2004年8月、米海兵隊の大型ヘリコプターが沖縄国際大学の本館に接触、墜落、炎上した。
- 2016年12月、オスプレイが、名護市の集落の近くに墜落した。
- 2016年にも、女性が遺体で発見された事件で、米軍属の男が死体遺棄、強姦致死及び殺人の容疑で逮捕・起訴され。

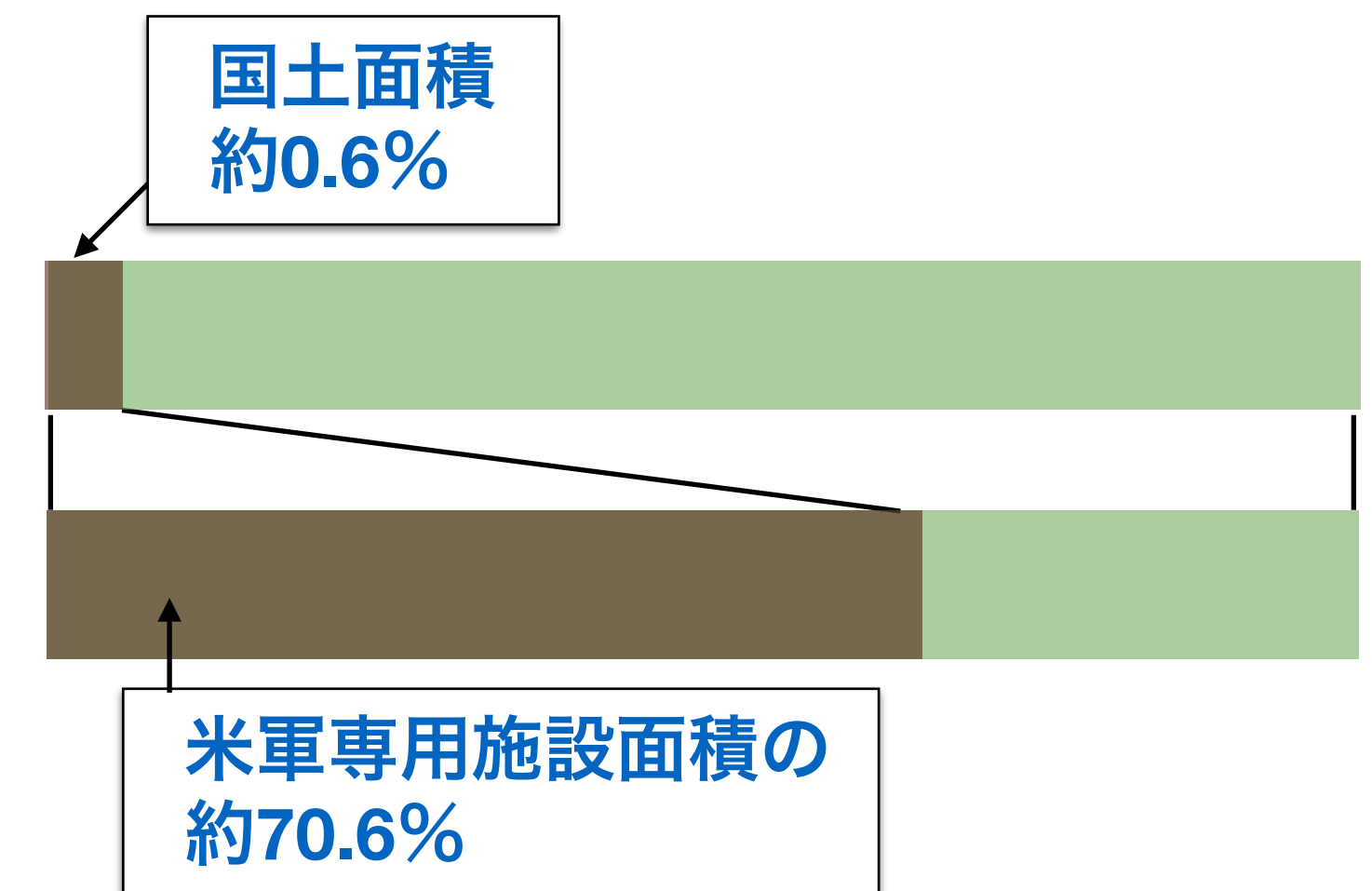
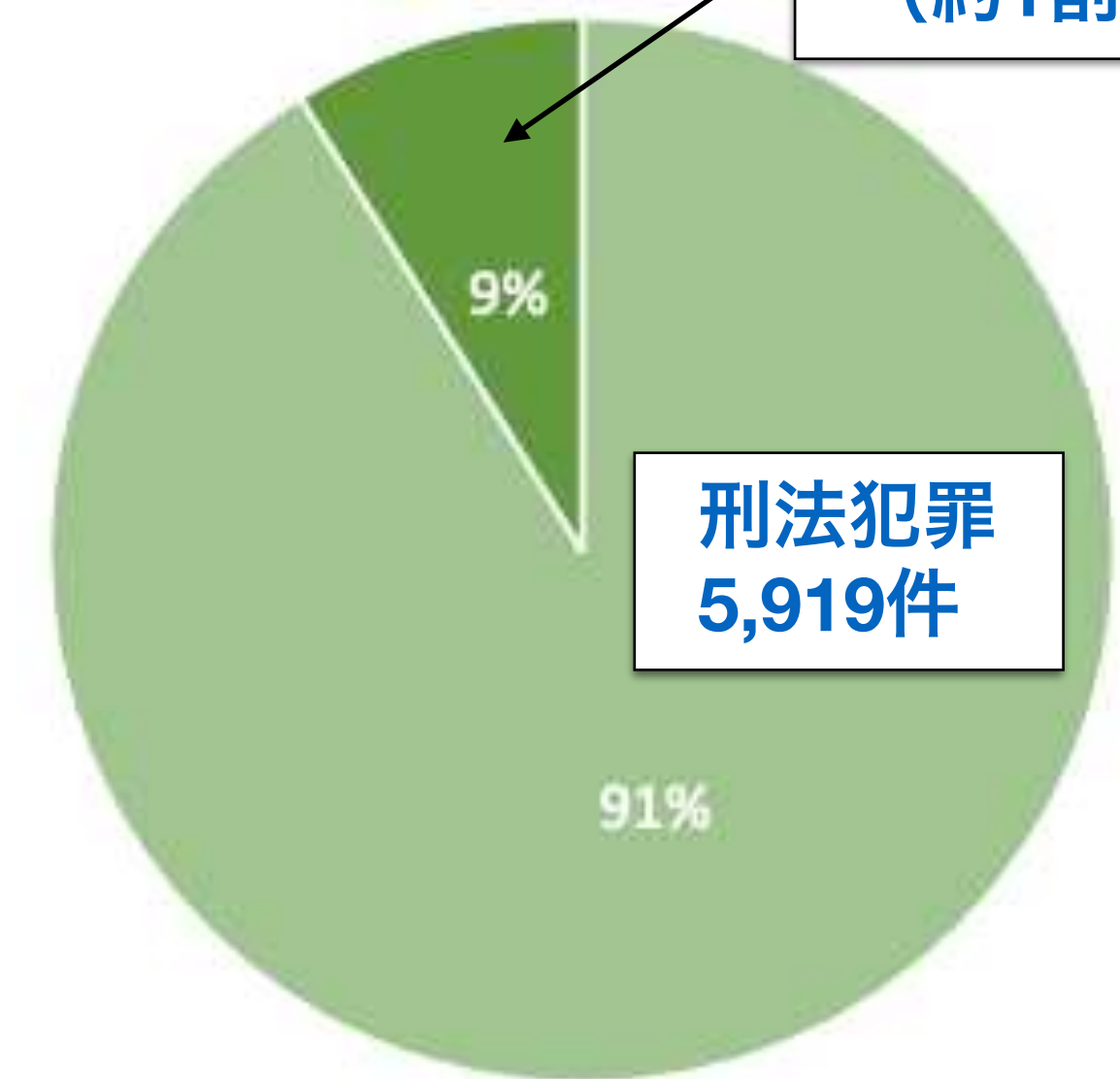
復帰後の事件事故

復帰1972年～2016年（44年間）の沖縄

米軍人・軍属等による**刑法犯罪**は、
復帰1972年から2016年末までに
5,919件発生し、うち殺人・強盗・強姦
などの**凶悪犯が576件（約1割）**。

5,919件を/44年で割ると、
1年あたり136件、**2,7日に1件発生**している。

国土面積の**約0.6%**の沖縄県に、全国の
米軍専用施設面積の**約70.6%**の米軍基地が
あるがゆえに、長年にわたり事件・事故が
繰り返されている。沖縄県は、日米両政府
に対し、基地の整理縮小や日米地位協定の
見直しや過重な基地負担の軽減を求めている。



「石と鉄」の背景 (1996年～2000年にかけての沖縄)

- ① 1995年9月、沖縄米兵による少女暴行事件後、戦後50年間、**基地の整理・縮小**を求めるうねりが高まった。
- ② 沖縄戦体験者の高齢化やこれまでの**平和教育から転換期**。
- ③ 平和教育の**マンネリ化**と、**教師の若年化等**、**継承の難しさ**。
- ④ 「**総合的な学習の時間**」の取りみ方法の検討時期。





他府県とは異なる、**沖縄の状況**を高校生に自ら考えさせるねらいを持った企画が必要。



美術や歴史を教科教育だけでなく**自己や社会について考えさせる**ための生涯教育と位置づけた。

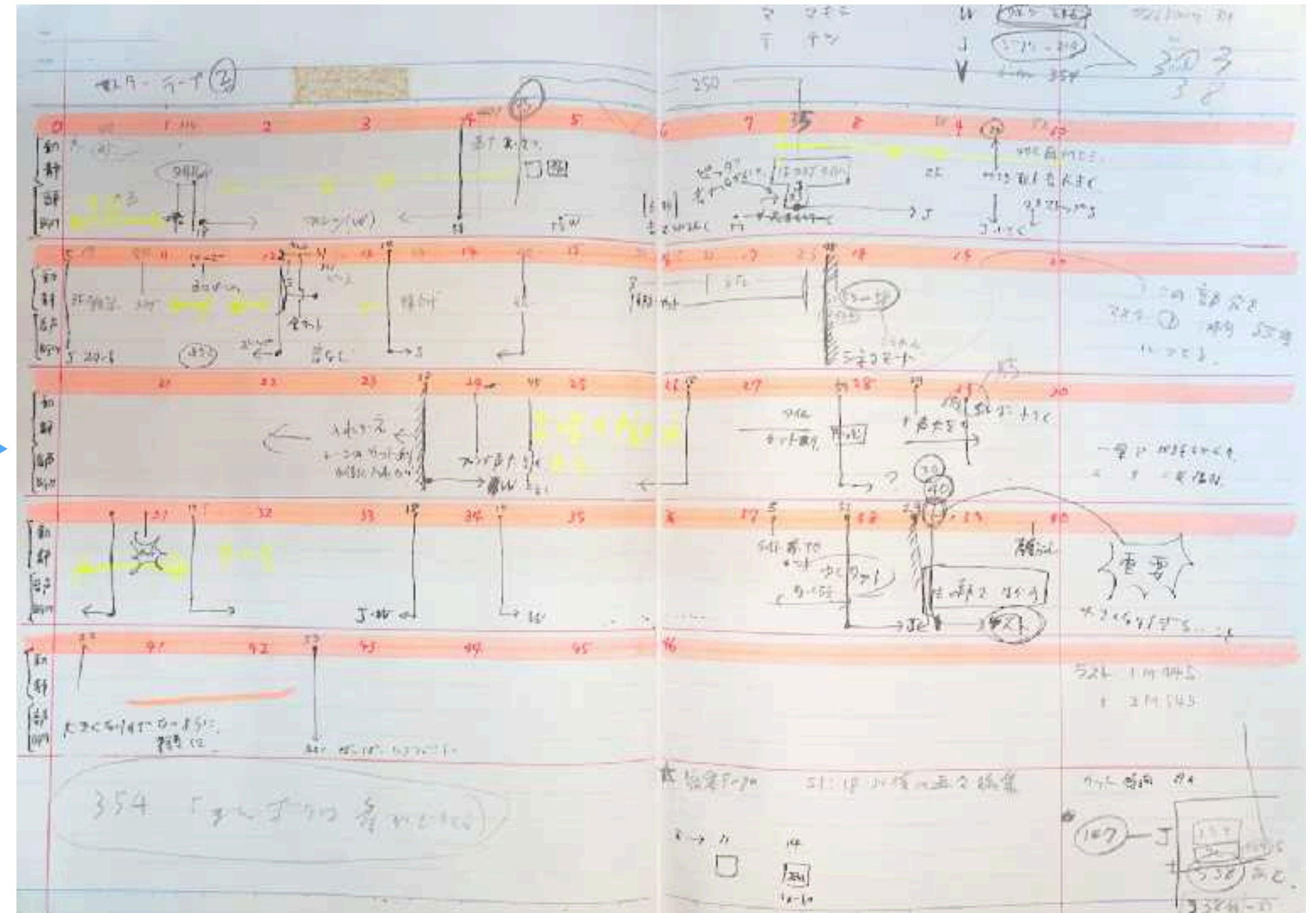
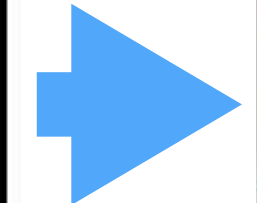
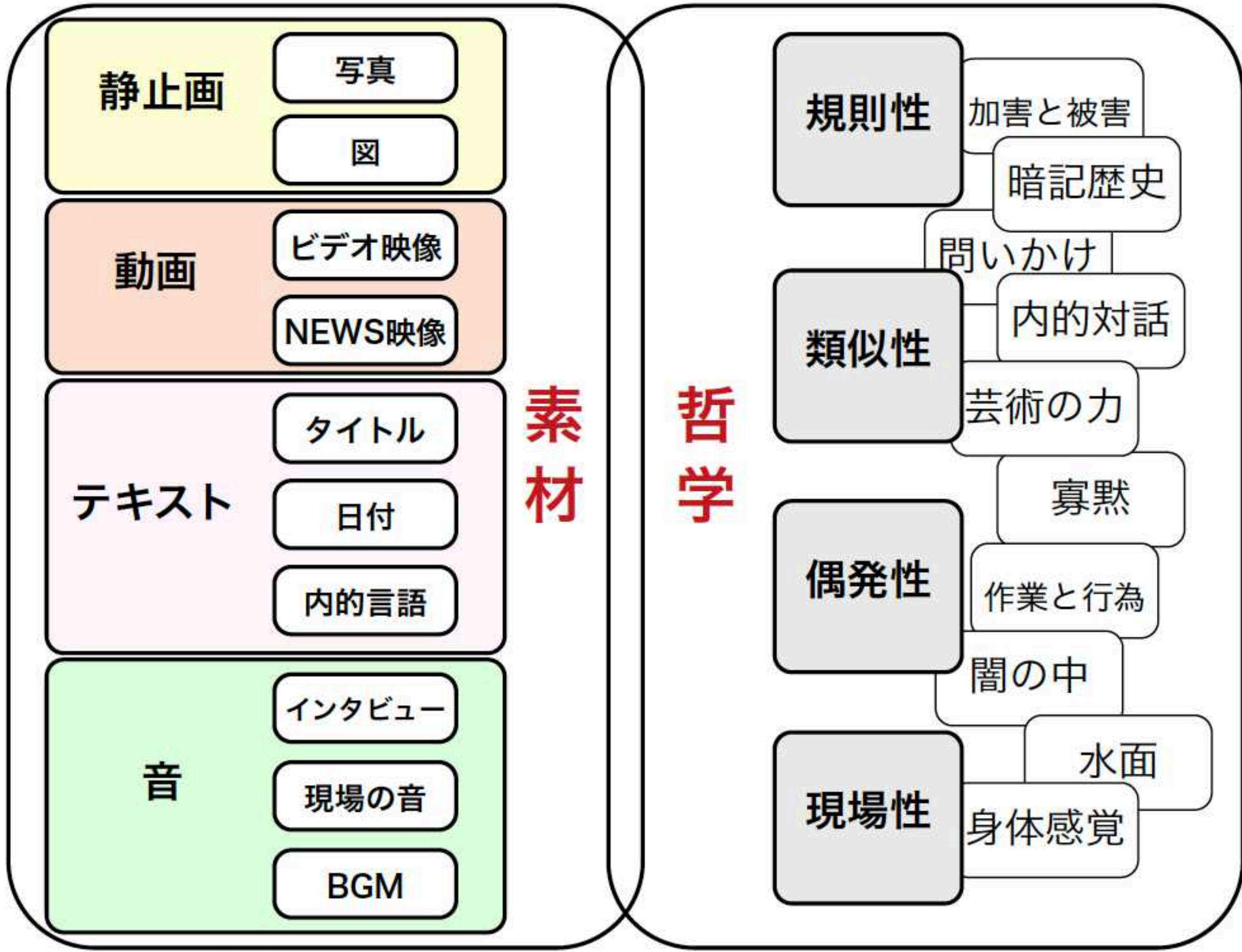


「命」「平和」を**表現行為を通して見つめる**ことが、結果的に平和教育と結びついた。



校内で不参加の生徒も含め全体で振り返りを行った。そのため、映像化の必要が生じ、**資料を編集したのがこの映像**である。

編集 (メッセージをどう伝えるかは重要) 現場で体験していない人にも



タイムラインによる編集計画

素材をどう扱うか方向性の整理

体育館での上映方法

（開始前にあることをお願いしました。）

視聴後、もし何かを感じたのであれば
黙って教室まで帰ってください。

黙々と、ただ石に番号をうつ
その行為の数、20余万

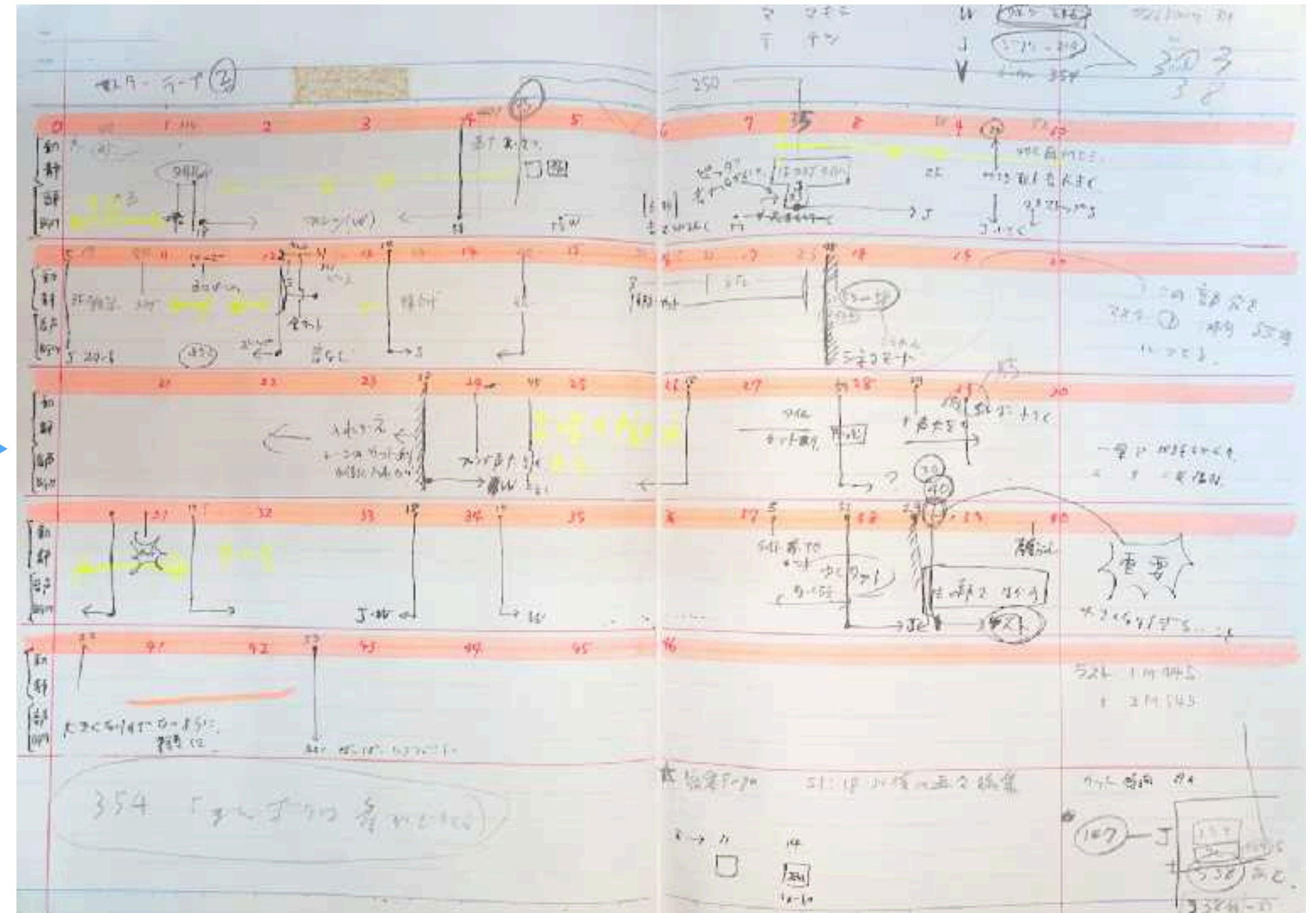
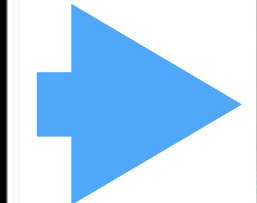
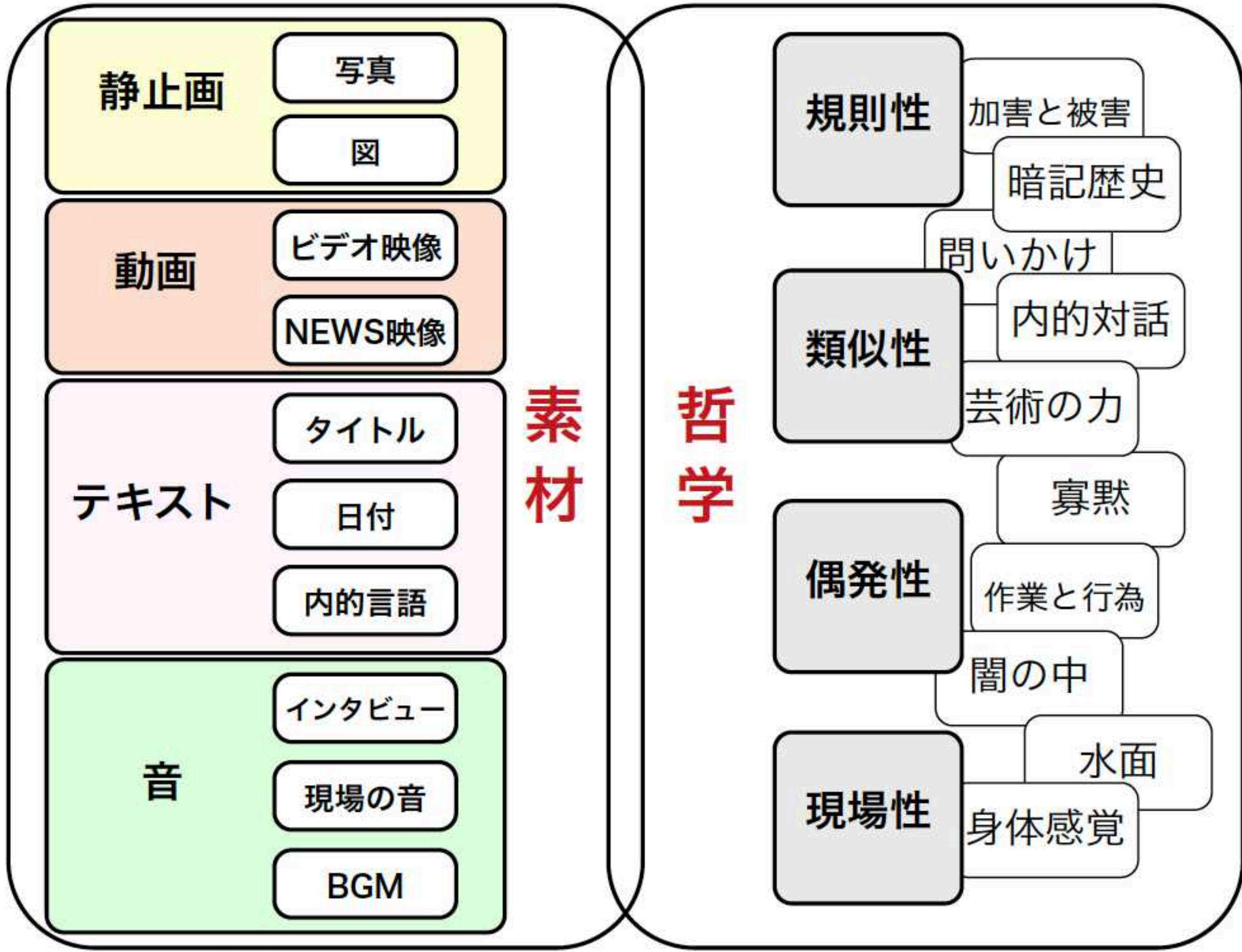
大正11年（1922年）東京市立大塚墓地

体育館での上映方法

（開始前にあることをお願いしました。）

視聴後、もし何かを感じたのであれば
黙って教室まで帰ってください。

編集 (メッセージをどう伝えるかは重要) 現場で体験していない人にも



タイムラインによる編集計画

素材をどう扱うか方向性の整理

意見交換

- ・ ここで、気軽に疑問や気づいた点など出し合い意見交換しましょう。

内容からの例：

- ・ 平和教育のポイント
- ・ 資料（第二次世界大戦の死者数）
- ・ 質問（沖縄戦の戦没者のなかでの犠牲者）
- ・ 沖縄戦の特徴
- ・ アートプロジェクトとその背景
- ・ キーワード
- ・ 言葉と声、視覚と聴覚、そして五感
- ・ 編集方法と上映方法

石の声 Voices of the Stones

…表現行為が導き出すもの
…Born of an Act of Expression



金城 満 Kinjo Mitsuru (文・写真 Text & photos)
レベッカ・ジェニソン Rebecca Jennison (英訳 Translation)

繰り返す、積み上げる、「水面の唇」

小声で
対話で
慣例を

繰り返す

- 「鉄の記憶」



- 「迷い鯉」



- 「石の声」



- 「壁画制作」



「アートのかは何かをえられるのか」をテーマに、沖縄県立開邦高校勤務時（1995～2005年）に行ったアートプロジェクトで、壁画制作は沖縄県立中部病院、「石の声」「迷い鯉」「鉄の記憶」は佐喜真美術館とのコラボレーションです。

Prev Page

Next Page

他の取り組みなど詳細は、「金城満の仕事」で検索

さて 様々な壊し方をみてきましたが
他にどのような例が考えられますか？

A

B

C

壊す

ご参加のみなさまへ

全体を通して疑問質問等
ご遠慮なく出してください

LESSON |

	1 限 目	2 限 目	3 限 目	4 限 目	5 限 目	6 限 目
時 間 割	夢	予	秘	副	壊	先

本日の資料はココにあります→
PDFのため映像はありません